

テクニカルサービス トライアル・代表

## 牧原道夫

昭和29年1月24日 鹿児島県志布志市に生まれる

昭和39年 コンピューター会社等を経た後、カーショップチャレンジへ。そこでL型チューニングを始める

昭和57年6月 テクニカルサービス トライアルを設立。ターボチューニングに本腰を入れ、最高速トライアルに挑む

昭和59年12月 市販車ベースとして最高の307.955km/hを樹立

### ●チューニングとの出会い

10年ほど前、L型エンジンのチューニングがブームになり始めた頃、その時いたチャレンジで。たまたま日産オプションパーツを使って組んだらけっこう速いエンジンが出来上がってね。それからL型にのめり込んだわけやけど、チューニ

の努力があったからや。みんな頭の中でパワーだけを計算するから口では簡単にオーバー300km/hを言うところけど、ドライバーの心理やマイナートラブルなんかでそうスムーズにいくもんやない。

自慢やないけど、俺が組んだ最高速用エンジンは一度も壊したことはない。いちかばちかでトライしとると違う。それだけ完成度の高いエンジンが求められるんや。俺の性格がこわがりということもあるけどな。

### ●最高速の限界

ボディチューニングの完璧な市販車に400ps以上のエンジンをマウントすればオーバー300km/hは出るはず。最高速の限界となればエンジンだけを考へて、GCカーみたいな空力車にマウントするのであれば350km/hも可能と違うかな。そやけど谷田部コースしかない日本においては320km/hが限界やろ。今でも許容スピードを超えとるから危険なことは確かやな。

### ●今後の抱負

俺が出した307km/hも、トラストのソアラに抜かれてしもうたんやけど、やるんやったらトップをとるつもりでやらなあかん。2番手やったらあかん。だから抜き返さなあかんと思とる。今は、気持ちの下準備をしてる段階で、今年の暮れぐらいに3~4台まとめていっぺんにオーバー300km/hすることを計画しとる。エンジンは別にL型にこだわってないけど、今やったらL型でもインジェクションシングルターボでも十分に300km/hは出るで。

### ●L型エンジン



関西—L型エンジンというイメージがあるけど、それがイイ意味でのL型だったらええけどな。まあ、よその判断はともあれ、結果が良かったらそれでええんとちゃう。L型は古いというけど、技術は確実に進歩しとるんやで。さっきも言うたとおり、インジェクションシングルターボでも十分に300km/hは出るし、2年先には1G—Gもツインターボで出せるやろ。

### ●今、一番興味のあるエンジン

ホンダのB20やな。全体的にそこそこ



のパワーを出しよる。まだ分解してないからよけいに興味があるな。でもチューニングとなればかなり完成されたエンジンだけに、余地が少ないんとちゃうか。

### ●趣味

凝り性で飽き性やからどれを言うたらええんやろ。

### ●子供の頃なりたかったもの

「バン屋」

### ●一番大切なもの

「仲間」

### ●信条

「初心忘るべからず」

チューニングの場合、問題点にぶつかりと原点にかえって煮詰め直すもんや。それがステップアップにもつながるしな。これはチューニングだけに限らず、すべてのことに言えるんとちゃうか。常に初心に帰り勉強、研究をせなあかん。

### ●現代の若者へ

俺らと共通点はないけど、主流は今の若い子等のソフトな時代。俺らの時代を押し付けることはできへん。俺らが反対に合わさなあかん。

### ●関西人としての意地

東があるから西があるように、西があるから東がある。西には負けたらあかんし、当然、東にも負けたらあかん。俺の場合、最高速トライアルやから数字ではっきりと出る。だから東に対しての闘争心はあるな。

### ●HKSの向井氏について

HKSもトライアルもターボというイメージがある。俺も内に秘めたるライバルと思とるし、お互いに競争心を燃してがんばりたいね。

## 限りなき高性能！ を生み出す職人芸

ダートフィールドで、より以上のハイパワーを引き出すために。

2人のチューナーが高性能を追い求めエンジンを組み上げる。それは究極のメカニズムを生み出す職人芸だ。

ング技術は誰かから教えてもらたんや。すべて独学やね。今でもその時の基礎的なノウハウが役にたってるよ。

### ●ターボチューニング

何が何でもターボという時代ではなくなったね。その場に合ったチューニングというのがあり、今でもメカチューンもするよ。メカチューンもターボチューンも基本は一つ。それからの応用が違ってくるんやな。どこでもメカチューンをやっている中で同じようなことはしなかったから、ウチがターボチューンをやり始めたのは早かったね。今ではターボに関する質、量、ノウハウはどこにも負けへんつもりや。そやけどターボ自体まだまだ完成されたモノと違うし、これから先どれだけパワーが上がるか分からん。もっともっと勉強せなあかんと思とる。

### ●最高速トライアル

最高速はそもそも完璧な設備がととのったメーカーがやるもんやったんや。そんな中で、ショップとしてメーカーに対抗してみたかった。大きなものに挑みたかった。そしてやるんやったらトップをとったという気持ちで307km/hを出したわけや。

今でこそ俺にとったらオーバー300km/hなんて簡単なことやけど、それは人一倍